

JCI-TC104A 繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会  
第4回幹事会議事録案

日 時：平成23年4月18日（月）17時～20時

場 所：JCI第3会議室

出席予定：金子，国枝，金久保，栗橋，井上（敬称略）

議 事：

(1) 研究委員会報告

金子委員長から，研究委員会の報告があった．他研究委員会の活動内容を比較し，本研究委員会の活動の参考にできる部分について意見交換を行った．特に，公益法人化に伴って，文献の引用方法がより厳格化されたことから，各委員にも周知することとした．

(2) WGの活動方針等の確認

各WGから，活動の方針についての紹介があり，審議を行った．主な内容は以下のとおり．

<新利用法WG：WG1>

- ・ 調査リストは充実しつつあり，引き続き整理をお願いする．
- ・ 調査項目については，基本的には了承されたが，適用部位，要求性能，メリットの部分が重複している感があり，再検討が必要である．なお，長期性能に関する情報がどの程度収集できるのか興味深い．
- ・ 用語についてはできるだけ統一できると良いが，あくまでも論文中で使用されている用語などを尊重する．
- ・ 目次案については，材料の圧縮，引張，曲げ，せん断などは別の項立てとする．また，構造系に関しては，材料の特性を踏まえた構造的検討であると推察されることから，材料・構造系とする．
- ・ 取りまとめ方法に関しては，引き続き検討を行っていただくが，委員会タイトルである新しい利用法にそれぞれを関連付けるために，例えば  
    使用材料（素材）が新しい  
    複合材料の性能が新しい（性能の種類，レベル）  
    施工方法が新しい  
    適用部位（構造システム）が新しい  
    などに分類する方法が考えられる．
- ・ 適用事例のフォーマットに関しては，A4で1枚程度とし，具体事例をもとに再検討する．

<性能評価WG：WG2>

- ・ 長期性能を意識した評価方法の代表例として，「ひび割れ幅」を取りあげ，  
    長期性能とひび割れ幅評価・モニタリングの関連，重要性  
    具体的な評価方法の例（架橋則）

について，検討する．

<環境対応WG：WG3>

- ・ ライフタイムにおける環境負荷（例えば，LCCO<sub>2</sub>）のシナリオ例を示しながら，  
    縦軸の指標

シナリオを通して創出される新しい利用法の提案  
について、検討する。

- ・ なお、シナリオを描く場合に、環境指標は積分値とし、時間軸についても普通コンクリートと差別化できるとよい。

### (3) 今後の予定

全体委員会は、5月、8月、11月、1月、3月頃に開催し、必要に応じて幹事会（7月、10月）を実施する予定である。

以上